

便の便り No.4

今回は Rectocele(直腸膈壁弛緩症)の勉強をします。名前が名前だけにこの病気で苦勞する方は殆ど女性です(ごく稀に男性の患者もいます)。妊娠、出産(経膈分娩)を経験している女性に多い病気です。

その症状は、**排便困難**です。肛門の出口に便が引っかかり出にくいのです。気張ると前の方(膈の方)がはれぼったくなり、自分の指で便を掻き出している方、膈の方に指を入れて押さえ、気張っても便が膈側にはまり込まないように一工夫して便を出している方がいます。あまりに便が出にくい場合は手術が必要な方もいます。この病気を持っている方はほぼ間違いなく脱肛もありますので脱肛の治療も同時に必要です。



私の**外来**を訪れる方の中では、それ程珍しい病気ではありません。あなたも Rectocele(直腸膈壁弛緩症)を持っている可能性があります。命にかかわる病気ではありませんが、もしかして私も、、、と思われる方は一度、私の**外来**に相談してみてください。

また、便秘でお悩みの方、出血、痛み、脱出で排便が憂鬱な方、人工肛門の管理でお悩みの方、便漏れがあり下着が汚れて困っている方、一度相談にいらしてください。お待ちしております。

★ 皆さん、年に1回の大腸癌検診(便潜血2日法)うけましたか? ★

明らかに自覚症状のある方(最近、便秘が続く、下痢が続く、排便時出血する。お腹が張るなど)は便の検査は必要ありません。大腸ファイバーの検査を受けてください。また、便潜血陽性が1回でも出た方は必ず大腸ファイバーを受けてください。**便の赤信号**を見のがさないように!!